

○計画期間：令和5年4月～令和10年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和5年度終了時点（令和6年3月31日時点）の中心市街地の概況

令和5年4月から、新たに第4期計画として目指す都市像である『昼も夜も歩いて楽しめる、いつまでも魅力的なまち』の実現に向け、各事業に取り組んでいる。令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症が5類移行したことで、人流等が活性化しており、各事業によるにぎわいの創出や回遊性の向上といった本来の効果が発揮されてきている。また、世界的半導体メーカーの熊本進出なども加わって、これまで以上にインバウンド来訪需要が拡大しており、更なる中心市街地活性化の機運が高まっている。

熊本城地区では、熊本城復旧計画による計画的な復旧・復興と戦略的な公開・活用に取り組んでいる。特別見学通路の完成によって、これまでとは違った視点から熊本城の復旧の様子を眺めることが可能になり、施設内部ではデジタル技術を駆使し、新しくなった熊本城を堪能することができる。令和6年4月には、新たに宇土櫓素屋根内部の特別公開が開始され、これまで以上に観光客等への誘客効果が期待されている。

通町筋・桜町周辺地区では、令和5年4月に新たな商業施設「HAB@（ハブアット）熊本」と都市型ホテル「OMO5 熊本 by 星野リゾート」が開業し、新たなにぎわいを創出している。また、花畑広場等を活用した多種多様なイベント等の開催や辛島公園北側道路の歩行者空間化を見据えた実証実験などにより、ハード・ソフトの両面でにぎわいの創出や回遊性の向上が見られた。

新町・古町地区は、歴史的建造物や町屋等の地域資源を活かし、一体的な価値や魅力を高めるため、地域、行政等がこれまで以上に連携を深め、保存だけでなく活用にも軸を置き、まちづくりを進めてきている。

唐人町通りの道路美装化に向けた道路空間整備事業では、令和3年度からワークショップを重ね、住民や歩行者等の意見を基に道路デザインの設計を進めており、景観資源を生かしたみちづくりに努めている。また、道路美装化の効果を高めるために、道路空間のみならず周辺の民有地と一体的な活用を行うため、令和5年には地元住民や大学生が参加したワークショップや社会実験「五感散歩」に取り組んでいる。

熊本駅周辺地区では、令和3年に熊本駅白川口（東口）駅前広場及びJR九州の熊本駅ビルやオフィスビルなどが完成しており、熊本の陸の玄関口としてインバウンドや県外の観光客の更なる獲得が期待できる。熊本駅ビルに併設しているアミュプラザくまもとでは、令和5年度において入館者数が1,707万人を突破しており、売り上げも277億円に達している。駅に隣接したJR九州等の大型マンションも複数棟完成しており、駅前広場「アミュひろば」を活用したにぎわいづくりや利用者のニーズに合わせた店舗展開により、エリアの魅力や利便性が一層高まり、観光客・居住人口の増加にもつながったと考えられる。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日：毎年度 1 月 1 日)

(1) 居住人口

(単位：人)

(中心市街地 区域)	令和3年度 (基準年度)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (最終年度)
人口	37,617	37,864	38,702				
人口増減数	415	247	838				
自然増減数	▲44	▲96	▲162				
社会増減数	459	343	1,000				
転入者数	4,429	4,458	5,086				

(2) 地価

(単位：円/㎡)

	令和3年度 (基準年度)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (最終年度)
中心市街地 商業地域 平均	735,750	732,667	748,917				
下通1丁目 12番23	1,420,000	1,410,000	1,430,000				
上通町 1番16	1,310,000	1,250,000	1,250,000				
花畑町 12番6外	631,000	631,000	654,000				
新町1丁目 7番36外	200,000	207,000	218,000				
中央街 4番30	583,000	580,000	594,000				
上鍛冶屋町 8番2	217,000	224,000	238,000				
呉服町2丁目 36番1外	228,000	237,000	252,000				
草葉町 4番9	428,000	437,000	458,000				
下通1丁目 3番3	2,400,000	2,370,000	2,400,000				
安政町 4番11	517,000	528,000	548,000				
辛島町 4番6	498,000	513,000	529,000				
上林町 1番25外	397,000	405,000	416,000				

2. 令和5年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

熊本市は、これまで3期に亘る中心市街地活性化基本計画を通して、複数の市街地再開発や熊本城本丸御殿の復元などの大規模プロジェクトを含む各種の事業を展開し、当該計画における都市基盤の整備はほぼ完了した。

令和5年4月からスタートした4期計画では、これまで整備された都市基盤施設を最大限に活用しつつ、計画のコンセプトである「昼も夜も歩いて楽しめる、いつまでも魅力的なまち」の実現に向けて各種事業が実施されている。

これにより、既存の都市基盤施設を活用したソフト事業など賑わいづくりに向けた取り組みが後述の「目標指標ごとのフォローアップ結果」にも表れてきており、応分の評価ができるものと考えている。

熊本市においては、「目標達成の見通し及び今後の対策」として、中心市街地における居住人口の増加に向けた建て替えの促進を図るため、引き続き「中心市街地建て替え促進事業」による更なる規制緩和や財政支援の拡充が期待される。また、「街なか子育てひろば事業」や「マンション適正管理支援事業」等によりハード・ソフトの両面から安心・安全なまちづくりへと繋げ、居住人口の増加を図ることとされている。

当協議会としては、中心市街地活性化基本計画の計画区域全域が、熊本市立地適正化計画における都市機能誘導区域や居住誘導区域に指定されると共に都市圏の要と位置付けられており、多核連携都市の実現に向けた取り組みも積極的に進めていただきたい。このことは、熊本市が計画している「ウォークブルビジョン」策定にも密接に関係してくるものと考えており、同ビジョンが中心市街地来訪者の増加や滞在時間の延長、勤務者の都心回帰、さらには「街なか居住」の推進に寄与することを期待するものである。

加えて、現在、計画が進められている市庁舎の建て替えは、中心市街地に極めて大きな影響を与えるものであり、熊本市においても単なる建替えに止まらず、中心市街地活性化の起爆剤として位置づけ、面的な整備を視野に検討されている。経済波及効果を最大限に発揮し、賑わいの創出や周辺市街地の再生に繋げるのはもとよりであるが、スピード感を持って取り組んでいただきたい。

当協議会は、今後とも、熊本市、熊本商工会議所や各まちづくり関係の団体等と連携し中心市街地の活性化に取り組んでいきたいと考えている。

また、従来からくまもと都市戦略会議のもとで取り組んでいる中心市街地の将来ビジョン「熊本市中心市街地ランドデザイン 2050」においても、社会情勢や中心市街地を取り巻く環境変化などを踏まえ、推進体制の見直しや各種取り組みの検討を継続しており、今後も中心市街地の活性化に向けて、引き続き官民一体となった協力体制のもと事業推進に積極的に取り組んで「実装」していくことが肝要であると考えている。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
時代の変化を見据えた魅力あるまちづくり	「桜町・花畑周辺地区に魅力があると感じる市民の割合」と「熊本駅周辺が魅力的であると感じる市民の割合」	桜町・花畑周辺 50.9%	桜町・花畑周辺 52%	桜町・花畑周辺 57.6%	A	-	①
		熊本駅周辺 46.2%	熊本駅周辺 47%	熊本駅周辺 48.8%			
にぎわいの創出と回遊性の向上	中心市街地の歩行者通行量	579,066人 (令和3年度)	788,000人 (令和9年度)	643,062人 (令和5年度)	B	-	①
	熊本市内の宿泊客数	168万人(年間) (令和2年)	290万人(年間) (令和9年)	353万人 (令和5年)	A	-	①
安全で安心できるまちなかへの居住促進	中心市街地の居住人口	37,682人 (令和3年度)	37,700人 (令和9年度)	38,557人 (令和5年度)	A	-	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

「桜町・花畑周辺地区に魅力があると感じる市民の割合」と「熊本駅周辺地区に魅力があると感じる市民の割合」については、整備した都市基盤の効果的な利活用や企業立地、公共交通機関による回遊性の向上等の影響により、目標値を上回った。引き続き、各事業に取り組み、魅力の向上を図る。

「中心市街地の歩行者通行量」については、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、人流が活性化したことに加え、多種多様なイベント等の開催により、着実に増加している。また、人中心の快適な都市空間の整備やシェアサイクル等により、利便性・回遊性の向上が期待できることから、目標達成は可能と見込まれる。

「熊本市内の宿泊客数」については、熊本城などの魅力ある観光資源の効果的なPR等により、令和5年度の最新値では353万人に及び、目標値を上回った。国内のみならず台湾等からのインバウンド需要が増加していることから、今後も引き続き各事業に取り組み、高い水準の維持を図る。

「中心市街地の居住人口」については、民間事業者による新規マンション建設等の効果から38,557人と目標を達成した。引き続き、居住人口の増加に向け、規制緩和や財政支援メニューの拡充等による建て替え促進など各種事業に取り組んでいく。

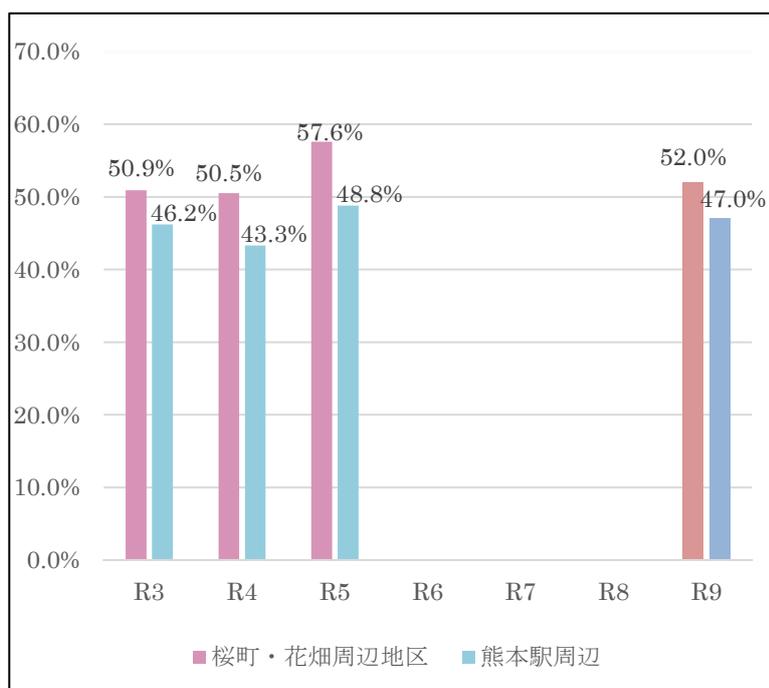
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「桜町・花畑周辺地区に魅力があると感じる市民の割合」と「熊本駅周辺が魅力的であると感じる市民の割合」※目標設定の考え方認定基本計画 P.67～P.69 参照

●調査結果と分析



年	(単位:%)
R3	桜町・花畑周辺地区 50.9
	熊本駅周辺 46.0 (基準値)
R4	桜町・花畑周辺地区 50.5
	熊本駅周辺 43.3
R5	桜町・花畑周辺地区 57.6
	熊本駅周辺 48.8
R6	
R7	
R8	
R9	桜町・花畑周辺地区 52.0
	熊本駅周辺 47.0 (目標値)

※調査方法：「熊本市第7次総合計画市民アンケート」調査結果

郵送法（郵便による調査票配布・回収）及びWEBアンケートによる回収

※調査月：令和6年1～2月

※調査主体：熊本市

※調査対象：熊本市

〈分析内容〉

令和5年度の2地区における魅力があると感じる市民の割合は57.6%及び48.8%と目標値を超える高い水準となった。これは、花畑広場等を活用したイベントの実施などこれまでに整備した都市基盤を効果的に利活用できたことで高い水準を維持していると考えられる。また、世界的半導体メーカーの熊本進出に伴い、半導体関連企業をはじめとした企業の投資需要の増加により、都市としてのブランド力が高まっていることに加え、公共交通施策等による利便性・回遊性の向上により、魅力が高まったものと推測される。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 花畑広場にぎわい創出事業（熊本市）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】											
事業概要	花畑広場（くまもと街なか広場、辛島公園及び花畑公園）において、盆踊り、アートフェスティバル等の多様なイベント開催によるにぎわいを創出する。											
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）											
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【最新値】60.5%</p> <p>・花畑広場において、RKKまつりや台湾祭など多種多様なイベントを開催した。令和5年度の来場者数は約140万人となっており、桜町・花畑周辺地区の魅力向上に寄与している。また、令和5年度からは、座学やトライアルイベントの開催等を通して、市民主体のイベント等を企画・運営する人材を育成する「くまもと広場ニスト育成スクール」を開催し、市民主体の利活用促進を図っている。</p> <p>【花畑広場の使用率】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>令和3年度 (2021年度)</th> <th>令和4年度 (2022年度)</th> <th>令和5年度 (2023年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※令和3年.11月～ 令和4年.3月</td> <td>※令和4年.4月～ 令和5年.3月</td> <td>※令和5年.4月～ 令和6年.3月</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>59.3%</td> <td>60.5%</td> </tr> </tbody> </table>			令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	※令和3年.11月～ 令和4年.3月	※令和4年.4月～ 令和5年.3月	※令和5年.4月～ 令和6年.3月	—	59.3%	60.5%
令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)										
※令和3年.11月～ 令和4年.3月	※令和4年.4月～ 令和5年.3月	※令和5年.4月～ 令和6年.3月										
—	59.3%	60.5%										
事業の今後について	今後も桜町・花畑周辺地区の魅力向上に向け、多種多様なイベント等を開催するとともに、くまもと広場ニストの育成など更なる利活用促進を図っていく。											

②. 熊本駅周辺エリア魅力発信事業（西区にぎわいづくり実行委員会）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】		
事業概要	熊本駅周辺地区において、地域住民と民間事業者、行政が連携し、区のまちづくりに取り組み活性化を図ることを目的に熊本駅周辺におけるイベント開催等を行う。		
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）		
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【最新値】65,000人</p> <p>・熊本駅周辺地区において、「西区フェスタ」、「くまもと新都心プラザ春まつり」及び「KAB 駅前フェスタ」を同時開催した。地域住民と民間事業者、行政が連携し、幅広い世代で楽しめるイベントを開催することで熊本駅周辺地区の魅力向上に寄与している。</p> <p>令和5年度の来客者数は悪天候により前年度から減少したものの、3年ぶりの開催となった令和3年度より上昇傾向となっている。</p>		

	<p>【イベントの来客者数】</p> <table border="1"> <tr> <td>令和3年度 (2021年度)</td> <td>令和4年度 (2022年度)</td> <td>令和5年度 (2023年度)</td> </tr> <tr> <td>63,000人</td> <td>66,000人</td> <td>65,000人</td> </tr> </table>	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	63,000人	66,000人	65,000人
令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)					
63,000人	66,000人	65,000人					
事業の今後について	今後も熊本駅周辺の魅力向上に向け、地域住民と民間事業者、行政が連携し、地域の課題解決に取り組むとともに、熊本駅周辺におけるイベント開催等を行っていく。						

③. 熊本駅新幹線口駅前広場交通対策事業（熊本市）

事業実施期間	令和2年度～令和7年度【実施中】
事業概要	駅前広場の交通混雑の解消、円滑な歩行やにぎわいの創出などを目的として、歩行者の動線や、タクシー・バス・一般車の乗降、待機スペースの配置を見直す改善・改修を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（国土交通省）（令和5年度～令和7年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【最新値】—</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本駅新幹線口駅前広場の再整備計画の策定に向け、ワークショップ等を開催し、利用者、地元住民及び関係事業者等と意見交換を行った。
事業の今後について	<p>今後も熊本駅新幹線口駅前広場の交通混雑の解消、円滑な歩行やにぎわいの創出による魅力向上に向け、引き続き事業を進めていく。</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 再整備計画の策定・実施設計 令和7年度 改修工事

④. 企業立地促進事業（熊本市）

事業実施期間	平成11年度～【実施中】
事業概要	本市に立地した企業で、本市が指定する要件を満たした企業に対し補助金の交付を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【最新値】30件/年</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の企業立地件数は30件となり、製造業・情報関連企業等、様々な企業の立地が進んでいる。また、立地企業の新規雇用予定者数は756人にのぼり、市内の雇用増加や都市のブランド力の向上に寄与している。

	【当事業を活用した企業の立地件数】 <table border="1"> <tr> <td>令和3年度 (2021年度)</td> <td>令和4年度 (2022年度)</td> <td>令和5年度 (2023年度)</td> </tr> <tr> <td>20件</td> <td>25件</td> <td>30件</td> </tr> </table>	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	20件	25件	30件
令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)					
20件	25件	30件					
事業の今後について	世界的半導体メーカーの熊本進出を受け、県内・市内における企業の投資意欲が高まる中、半導体関連企業をはじめ、IT関連企業やデジタル・コンテンツ企業を中心とした、積極的な企業誘致活動を展開し、市内の雇用増加や都市ブランド力の向上を図っていく。						

⑤. 熊本城周遊バス運行事業（熊本市）

事業実施期間	平成18年度～【実施中】						
事業概要	熊本駅を発着とした熊本城及びその周辺をつなぐ周遊バス「しろめぐりん」を運行する。						
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）						
事業目標値・最新値及び進捗状況	【最新値】89,989人 ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、「バス・電車無料の日」やお盆時期の増便等の取組により利用者数は上昇傾向にあり、令和5年度の実績ではコロナ禍以前の水準に到達している。熊本駅と熊本城を含む市内中心部をつなぐ重要な交通手段となっており、中心市街地内でのアクセスや回遊性の向上に寄与している。 【周遊バス乗車人数】 <table border="1"> <tr> <td>令和3年度 (2021年度)</td> <td>令和4年度 (2022年度)</td> <td>令和5年度 (2023年度)</td> </tr> <tr> <td>44,689人</td> <td>79,967人</td> <td>89,989人</td> </tr> </table>	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	44,689人	79,967人	89,989人
令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)					
44,689人	79,967人	89,989人					
事業の今後について	今後も更なる観光客等の来訪者の増加が予想されることから、中心地市街地の魅力向上に向け、デジタルチケットの導入検討等、観光客の利便性の増進に取り組んでいく。						

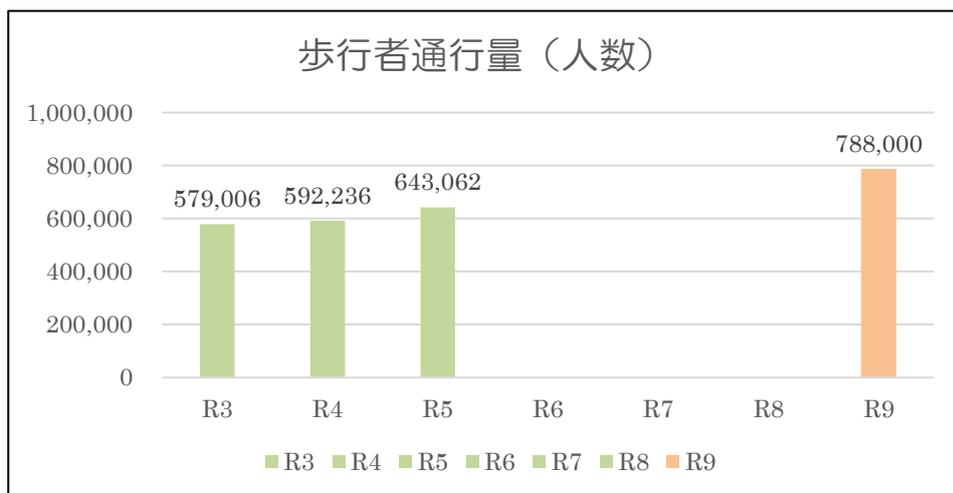
●目標達成の見通し及び今後の対策

令和5年度は、これまでに整備した都市基盤の効果的な利活用や企業立地、公共交通機関による回遊性の向上等により、魅力があると感じる市民の割合は桜町・花畑周辺地区、熊本駅周辺地区の双方で目標値を上回る結果となった。

今後は世界的半導体メーカーの熊本進出に伴い、更なる雇用の拡大やインバウンド需要の増加も期待されていることから、引き続き、花畑広場等における多種多様なイベントの開催や熊本駅新幹線口駅前広場の改修による交通対策などに取り組むことで、更なるにぎわいの創出や回遊性を向上させ、中心市街地の魅力を高めていく。

(2-1)「中心市街地の歩行者通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P.70~P.72 参照

●調査結果と分析



年度	(単位:人)
R3	579,066 (基準年値)
R4	592,236
R5	643,062
R6	
R7	
R8	
R9	788,000 (目標値)

※調査方法：調査地点(28地点)を通過する対象者数を進行方向別に一定時間計測し、1日(12時間)の通行量を算出。

※調査月：毎年10月(ただし、令和5年度は11月に実施)

※調査主体：熊本市

※調査対象：中心商店街及び熊本駅周辺計28地点における歩行者等の通行量(休日と平日の2日間)の合計

(単位：人)

町名(通名)	令和3年度 (基準年度)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
上通	109,686	102,774	104,142				
下通	218,406	218,292	251,946				
新市街	59,880	74,094	90,972				
駕町通り	21,948	32,100	33,348				
水道町	30,432	33,036	35,292				
熊本駅周辺	45,246	35,916	27,060				
ワシントン通り	7,692	7,392	9,336				
ブルスコート	4,416	4,152	4,620				
西銀座通り	6,252	9,684	7,380				
城見町通り	10,860	11,004	10,380				
シャワー通り	9,048	7,056	7,824				
市庁舎通り	9,096	11,664	9,804				
桜町	18,936	18,288	24,738				
銀座通り	12,540	12,660	12,084				
安政町	14,628	14,124	14,136				
合計	579,066	592,236	643,062				

〈分析内容〉

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、人流が活性化したことに加え、第3期計画時において整備された花畑広場や桜町地区再開発施設などの都市基盤の利活用が促進されたことで、歩行者通行量が増加したと考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. ウォークアブル都市推進事業（熊本市）

事業実施期間	令和2年度～令和7年度【実施中】
事業概要	熊本市民会館前道路等において、道路空間再配分（歩道の拡幅）や利活用の検討等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（国土交通省） （令和5年度～令和7年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【最新値】— ・熊本城と花畑広場を結ぶ熊本市民会館前の道路空間を再配分（片側1車線を減少）し、拡幅した歩道と隣接するオープンスペースを一体的に利活用する社会実験を実施した。令和5年10月28日から11月4日（8日間）の期間で、滞在者数は前年比で約24%増加し、にぎわいの創出や回遊性の向上に寄与した。
事業の今後について	今後にもぎわいの創出や回遊性の向上に向け、道路空間再配分等の検討を進めるとともに、中心市街地ウォークアブルビジョンを策定し、人中心の快適な都市空間の整備を進めていく。 【今後のスケジュール】 ・令和6年度 熊本市民会館前道路等の道路空間再配分の検討 中心市街地ウォークアブルビジョンの策定

②. 中心市街地まちづくり推進事業（熊本市）

事業実施期間	平成23年度～【実施中】
事業概要	辛島公園北側道路の歩行者空間化を見据えた実証実験等や桜町・花畑地区におけるエリア防災の運用及び避難誘導マニュアルの作成等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	・社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（国土交通省） （令和5年度～令和7年度） ・都市安全確保促進事業（国土交通省）（令和5年度～令和7年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【最新値】— ・辛島公園北側道路の歩行者空間化に向けた、実証実験（令和5年10月から令和6年3月までの半年間）を実施した。花畑広場との一体的な利活用により、多くの来場者が訪れ、にぎわいの創出や回遊性の向上に寄与した。また、桜町・花畑地区において、関係事業者と連携し、帰宅困難者対応マニュアルの作成を行った。

事業の今後について	<p>今後も、にぎわいの創出や回遊性の向上に向け、辛島公園北側道路の歩行者空間化実証実験の効果検証を行うとともに、桜町・花畑地区における防災力の向上を図るため、避難訓練等を実施していく。</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 辛島公園北側道路歩行者空間化実証実験の効果検証 桜町・花畑周辺地区帰宅困難者対応訓練の実施
-----------	---

③. 中心商店街地区魅力向上事業（STREET ART-PLEX KUMAMOTO 実行委員会）

事業実施期間	平成14年度～【実施中】														
事業概要	中心市街地において、音楽等のイベント「STREET ART-PLEX KUMAMOTO」を行う。														
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）														
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【最新値】13件（18,506人）</p> <p>・中心市街地において、事業開始当初から継続しているイベントや新たなジャンルのパフォーマンス等を年間通して定期的で開催したことにより、約18,500人の集客があった。イベント集客数は前年に比べ40%増加しており、にぎわいの創出及び回遊性の向上に寄与している。</p> <p>【イベント集客数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和3年度 (2021年度)</th> <th>令和4年度 (2022年度)</th> <th>令和5年度 (2023年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催件数</td> <td>8件</td> <td>9件</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>集客数</td> <td>8,103人</td> <td>13,224人</td> <td>18,506人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	開催件数	8件	9件	13件	集客数	8,103人	13,224人	18,506人
年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)												
開催件数	8件	9件	13件												
集客数	8,103人	13,224人	18,506人												
事業の今後について	今後も交流人口の増加や地域経済の活性化に向け、中心商店街での多種多様なイベントに取り組んでいく。														

④. 文化芸術支援事業（熊本市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】		
事業概要	地元アーティスト及び発表の場を提供できる店舗等をWEB上にて登録し、マッチングイベントを推進する。		
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）		
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【最新値】280人（106箇所）</p> <p>・アーティストとスポット（発表の場）のマッチングイベント「アーティストウィーク熊本2024」を中心市街地で実施したほか、「アーティスト出張アトリエ」や熊本博物館のプラネタリウムと音楽ライブをコラボレーションさせた「プラネタリウム音楽祭」を行うなど新たな取組を行い、にぎわいの創出に寄与している。</p>		

	【アーティスト・スポットの登録状況】												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和3年度 (2021年度)</th> <th>令和4年度 (2022年度)</th> <th>令和5年度 (2023年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アーティスト数</td> <td>167人</td> <td>232人</td> <td>280人</td> </tr> <tr> <td>スポット数</td> <td>72箇所</td> <td>88箇所</td> <td>106箇所</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	アーティスト数	167人	232人	280人	スポット数	72箇所	88箇所	106箇所
年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)										
アーティスト数	167人	232人	280人										
スポット数	72箇所	88箇所	106箇所										
事業の今後について	今後にもぎわいの創出と回遊性の向上に向け、公式Instagramなどによる広報の強化を行うなど更なる文化芸術支援に取り組んでいく。												

⑤. 主要地方道熊本高森線（唐人町通り）の道路空間美装化事業（熊本市）

事業実施期間	令和3年度～令和7年度【実施中】
事業概要	歴史的建造物等の活用が進められている「唐人町通り」において、歴史ある町並みの持続的な継承・成長を図り、にぎわい・回遊・滞留につなげるための道路空間整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（国土交通省） （令和5年度～令和7年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【最新値】— ・唐人町通りの道路空間美装化工事に向け、沿道軒先を活用したみどりの社会実験やロジ・民間駐車場の利活用実験を実施した。
事業の今後について	今後にもぎわいの創出と回遊性の向上に向け、詳細設計・工事に着手するとともに、沿線の民有地を含めた景観まちづくりルールの策定に取り組んでいく。 【今後のスケジュール】 ・令和6年度 美装化工事の設計・一部区間の工事着手 道路美装化と合わせた景観ルールづくり

⑥. シェアサイクル導入支援事業（熊本市、シェアサイクル事業者）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	サイクルポートに設置された自転車を利用登録者が共有し、24時間いつでも好きな場所で貸出・返却を可能とする。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【最新値】736,570回（164,926人） ・利用者の増加を図るため、バス電車無料の日に合わせて割引チケットの配付を行うなど新規ユーザーの獲得に向けた取組を実施した。令和5年度の利用回数は約737,00回と増加しており、中心市街地で発着する利用者の割合が約7割を占めていることから、まちなかの回遊性向上に大きく寄与している。

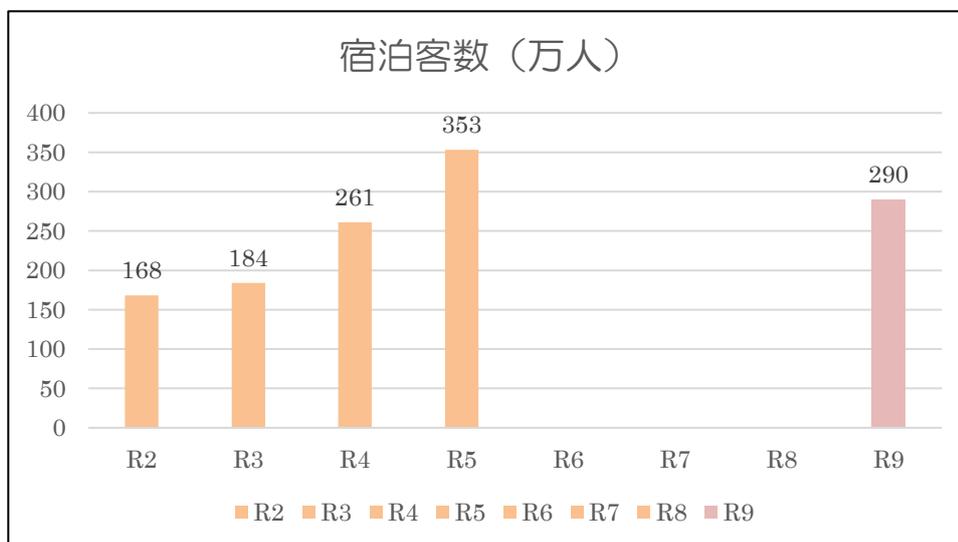
	【シェアサイクル利用状況】			
	年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
	利用者数	未実施	41,635人	164,926人
	利用回数	未実施	177,391回	736,570回
事業の今後について	今後にもぎわいの創出と回遊性の向上に向け、シェアサイクルの対象エリアの拡大や自転車の増車及びポート密度の増加など利用環境の充実を図り、利便性の増進に取り組んでいく。			

●目標達成の見通し及び今後の対策

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、人流が活性化したことで歩行者通行量は回復傾向にあり、今後も増加が期待されることに加え、シェアサイクル等による新たなモビリティの活用など利便性や回遊性の向上へ向けた取組により目標達成は可能と思われる。今後は道路空間の再配分など人中心の快適な都市空間の整備や花畑広場などを活用した多種多様なイベント等を開催することで、新たにもぎわいの創出や交流人口の増進を図り、中心市街地の歩行者通行量増加へつなげていく。

(2-2)「熊本市内の宿泊客数」※目標設定の考え方認定基本計画 P.73~P.76 参照

●調査結果と分析



年	(単位:万人)
R2	168 (基準年値)
R3	184
R4	261
R5	353
R6	
R7	
R8	
R9	290 (目標値)

※調査方法：熊本市観光統計

※調査月：令和5年1~12月

※調査主体：熊本市

※調査対象：市内のホテル、旅館、公共宿泊施設の年間宿泊客数

〈分析内容〉

令和5年における市内の宿泊客数については、353万人と前年度比35.4%の増加に及び、目標値を超える高い水準となった。これは、新型コロナウイルス感染症の5類移行に

加え、熊本城の特別公開など本市の魅力ある観光資源を国内外に効果的にPRできたことが要因であると考えられる。また、中心市街地において新たな宿泊施設の開業やわかりやすい多言語標記など受入環境が整備されたことも一因であると考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 熊本城特別公開関連事業（熊本市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】			
事業概要	入園券等の販売においてキャッシュレス・DXの推進を図る。熊本城の歴史・文化に関する誘客コンテンツの創出やSNS等を活用した情報発信により、誘客の促進を図る。			
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）			
事業目標値・最新値及び進捗状況	【最新値】1,353,520人			
	・特別見学通路や天守閣の公開に加え、春・秋のくまもとお城まつりの開催、夏休み期間及び紅葉の期間にあわせて夜間公開を実施し、来場者数も令和4年に比べ約35万人の増加となっており、宿泊客数増加に寄与している。			
	【熊本城入場者】			
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
	310,011人	447,851人	1,002,978人	1,353,520人
事業の今後について	今後も観光客や市内宿泊者数の増加に向け、「宇土櫓素屋根特別公開」や北ルート公開日の拡充など文化観光拠点としての魅力向上を図っていく。			

②. インバウンド誘客対策事業（熊本市）

事業実施期間	【未】[認定基本計画：継続中（開催時期不明）]			
事業概要	中心市街地には熊本城をはじめとする主要な観光・文化施設が存在しており、復興に向けた観光振興として、復旧が進む熊本城をはじめとした観光資源の国外へのPRを行う。			
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）			
事業目標値・最新値及び進捗状況	【最新値】433,602人（令和5年度時点）			
	・中国・香港向けのプロモーションや台湾・タイにおける九州内自治体と連携した誘客プロモーションを行った。加えて、世界水泳選手権2023福岡大会とあわせてデジタルプロモーションやツアー造成（4月～8月）などの実施により、令和5年の海外からの延べ宿泊者数は令和4年に比べ約9倍増となっており、市内の宿泊客数増加に大きく寄与している。			

	【延べ宿泊者数（海外客）】								
	<table border="1"> <tr> <td>令和2年 (2020年度)</td> <td>令和3年 (2021年度)</td> <td>令和4年 (2022年度)</td> <td>令和5年 (2023年度)</td> </tr> <tr> <td>48,977人</td> <td>5,648人</td> <td>47,222人</td> <td>433,602人</td> </tr> </table>	令和2年 (2020年度)	令和3年 (2021年度)	令和4年 (2022年度)	令和5年 (2023年度)	48,977人	5,648人	47,222人	433,602人
令和2年 (2020年度)	令和3年 (2021年度)	令和4年 (2022年度)	令和5年 (2023年度)						
48,977人	5,648人	47,222人	433,602人						
事業の今後について	今後も観光客や市内宿泊者数の増加に向け、米国・香港・台湾・タイ向け誘客プロモーションや、他都市と連携した「西のゴールデンルート」周遊観光プロモーションなど本市の観光資源のPRに取り組んでいく。								

③. 観光客受入環境整備事業（熊本市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】								
事業概要	市電及びしろめぐりんのフリーWi-Fiの提供、観光案内所2か所におけるデジタルサイネージの提供、通訳ガイドの育成などの外国人観光客受入環境整備を行う。								
国の支援措置名及び支援期間	訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金（観光庁）（令和5年度）								
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【最新値】62.5%</p> <p>・地域通訳案内士の育成、熊本駅、熊本城及び周辺をつなぐ周遊バス「しろめぐりん」や市電におけるFree Wi-Fiの提供を行った。加えて、観光案内所におけるデジタルサイネージを活用した情報提供により、観光客の受入環境の向上を図ったことから、観光客の満足度は令和4年を下回ったものの62.5%と一定水準を維持しており、利便性の増進及び市内の宿泊客数増加に寄与している。</p> <p>【観光客の満足度】</p> <table border="1"> <tr> <td>令和2年 (2023年度)</td> <td>令和3年 (2021年度)</td> <td>令和4年 (2022年度)</td> <td>令和5年 (2023年度)</td> </tr> <tr> <td>38.0%</td> <td>34.9%</td> <td>72.4%</td> <td>62.5%</td> </tr> </table>	令和2年 (2023年度)	令和3年 (2021年度)	令和4年 (2022年度)	令和5年 (2023年度)	38.0%	34.9%	72.4%	62.5%
令和2年 (2023年度)	令和3年 (2021年度)	令和4年 (2022年度)	令和5年 (2023年度)						
38.0%	34.9%	72.4%	62.5%						
	今後も観光客の利便性の増進及び市内の宿泊客数増加に向け、Free Wi-Fi やデジタルサイネージを活用した情報提供をするとともに、地域通訳案内士の育成拡大や食の多様性セミナーの実施など受入環境の整備に取り組んでいく。								

④. 中心市街地建て替え促進事業（まちなか再生プロジェクト）（熊本市）

事業実施期間	令和2年度～令和11年度【実施中】
事業概要	中心市街地の老朽建築物の建て替え等に対する財政支援を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（国土交通省）（令和5年度～令和7年度）
事業目標値・最新値及び進捗	<p>【最新値】27件（令和5年度時点の累計）</p> <p>・防災機能強化等に着目した容積率の割増し、高さ基準に係る特例承</p>

状況	<p>認や建築物等に対する財政支援を実施した。令和5年度においては、複合施設「Shinsekai 下通 GATE」内に、商業施設である「HAB@（ハブアット）熊本」や宿泊施設である「OMO5 熊本 by 星野リゾート（客室数160室）」が開業し、にぎわいの創出及び市内の宿泊客数増加に寄与している。</p> <p>【建て替え件数（各年度の数値は累計）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度 (2020年度)</th> <th>令和3年度 (2021年度)</th> <th>令和4年度 (2022年度)</th> <th>令和5年度 (2023年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11件</td> <td>19件</td> <td>22件</td> <td>27件</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	11件	19件	22件	27件
令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)						
11件	19件	22件	27件						
事業の今後について	<p>今後も更なる建て替え促進を目指し、規制緩和の検討や財政支援メニュー拡充の検討、金融機関との連携について取り組んでいく</p>								

⑤. MICE誘致戦略事業（熊本市）

事業実施期間	平成27年度【実施中】															
事業概要	MICE誘致活動、コンベンションの開催の助成を行う。															
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）															
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【最新値】272件（124,265人）</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、コンベンションの開催件数は272件と増加傾向にあり、市内外から124,265人と多くの参加者が訪れ、宿泊客数の増加に寄与している。また、世界的半導体メーカーの熊本進出に伴う周辺都市の開発や関連企業の集積、阿蘇くまもと空港のリニューアルオープンなどのMICE誘致を取り巻く環境の変化を踏まえ、誘致の指針となる第2期熊本市MICE誘致戦略を策定した。</p> <p>【コンベンション開催状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年 (2020年度)</th> <th>令和3年 (2021年度)</th> <th>令和4年 (2022年度)</th> <th>令和5年 (2023年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催件数</td> <td>67件</td> <td>103件</td> <td>236件</td> <td>272件</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>21,754人</td> <td>36,412人</td> <td>102,208人</td> <td>124,265人</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年 (2020年度)	令和3年 (2021年度)	令和4年 (2022年度)	令和5年 (2023年度)	開催件数	67件	103件	236件	272件	参加者数	21,754人	36,412人	102,208人	124,265人
	令和2年 (2020年度)	令和3年 (2021年度)	令和4年 (2022年度)	令和5年 (2023年度)												
開催件数	67件	103件	236件	272件												
参加者数	21,754人	36,412人	102,208人	124,265人												
事業の今後について	<p>今後も更なる市内外からの来訪や宿泊客数の増加に向け、第2期熊本市MICE誘致戦略に基づく効果的・効率的な誘致活動等に取り組んでいく。</p>															

⑥. 熊本城マラソン事業（熊本城マラソン実行委員会）

事業実施期間	平成23年度～【実施中】
事業概要	約14,700人のランナーによるマラソン大会を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新	【最新値】14,639人（3,964人）

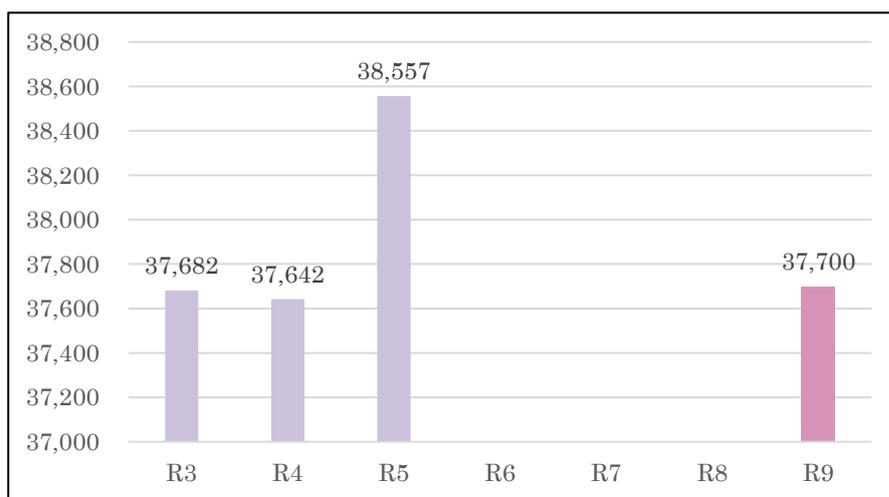
値及び進捗状況	<p>・令和4年度のマラソン大会では、コロナ禍であったため定員を2,000人減少させ開催を行ったが、令和5年度のマラソン大会では従来の定員数に戻し開催したことから、出走者数は14,639人となっており、そのうち県外からの参加者は3,964人と県外からの宿泊客数の増加に寄与している。</p> <p>【マラソン大会の出走者数】</p> <table border="1" data-bbox="507 443 1393 633"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度 (2020年度)</th> <th>令和3年度 (2021年度)</th> <th>令和4年度 (2022年度)</th> <th>令和5年度 (2023年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出走者数</td> <td>未開催</td> <td>未開催</td> <td>11,710人</td> <td>14,639人</td> </tr> <tr> <td>うち県外</td> <td>未開催</td> <td>未開催</td> <td>2,488人</td> <td>3,964人</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	出走者数	未開催	未開催	11,710人	14,639人	うち県外	未開催	未開催	2,488人	3,964人
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)												
出走者数	未開催	未開催	11,710人	14,639人												
うち県外	未開催	未開催	2,488人	3,964人												
事業の今後について	<p>今後もスポーツを通じた本市の魅力発信や市内宿泊者数の増加に向け、本市の主要スポーツイベントとして安心安全で魅力的な大会の実施に取り組んでいく。</p>															

●目標達成の見通し及び今後の対策

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、インバウンド需要は回復しており、中心市街地の交流人口も増加している。また、世界的半導体メーカーの熊本進出により、台湾からの来訪者も増加していくことが見込まれるため、目標達成は可能と思われる。今後も熊本城など本市ならではの観光資源を国内外にPRするとともに、まちなかの更なる建て替え促進や第2期 MICE 誘致戦略に基づく効果的・効率的な誘致活動等により、新たなにぎわいの創出や市内の宿泊客数増加につなげていく。

(3)「中心市街地の居住人口」※目標設定の考え方認定基本計画 P.77~P.80 参照

●調査結果と分析



年	(単位：人)
R3	37,682 (基準年値)
R4	37,642
R5	38,557
R6	
R7	
R8	
R9	37,700 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳からの集計

※調査月：令和5年10月1日

※調査主体：熊本市

※調査対象：中心市街地7校区の住民基本台帳登録者

(参考) 校区別居住人口の推移 (上段: 人口 (人)、下段: 前年比)

	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年
合計	37,682	37,642	38,557				
	101.36%	99.89%	102.43%				
城東	3,021	3,157	3,211				
	98.40%	104.50%	101.71%				
慶徳	3,838	3,787	3,864				
	100.63%	98.67%	102.03%				
五福	3,999	3,965	3,913				
	101.91%	99.15%	98.69%				
一新	10,140	10,131	10,244				
	101.14%	99.91%	101.12%				
碩台	6,186	6,089	6,177				
	100.28%	98.43%	101.45%				
古町	3,343	3,333	3,546				
	101.09%	99.70%	106.39%				
春日	7,155	7,180	7,602				
	104.22%	100.35%	105.88%				

〈分析内容〉

中心市街地全体としては、前年度から大幅な増加がみられ、約1千人の伸びとなった。校区別では、五福校区を除いた全ての地区で人口が増加しており、特に古町校区と春日校区では、前年度比で105%を超えている。その理由として、新町・古町地区や熊本駅周辺地区では、民間事業者による新規マンションの建設が活発に行われており、高次な都市機能が集積する中心市街地の利便性・快適性や安全性などの魅力により、需要が高まっていることが影響したものと考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 中心市街地建て替え促進事業 (まちなか再生プロジェクト) (熊本市)

事業実施期間	令和2年度～令和11年度【実施中】
事業概要	中心市街地の老朽建築物の建て替え等に対する財政支援を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)(令和5年度～令和7年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	【最新値】27件(令和5年度時点の累計) ・防災機能強化等に着目した容積率の割増し、高さ基準に係る特別承認や建築物等に対する財政支援を実施した。令和5年度においては、中心市街地のにぎわいや利便性向上に繋がる新たな商業施設が開業するなど、まちなかへの居住促進に寄与している。

	<p>【建て替え件数（各年度の数値は累計）】</p> <table border="1"> <tr> <td>令和3年度 (2021年度)</td> <td>令和4年度 (2022年度)</td> <td>令和5年度 (2023年度)</td> </tr> <tr> <td>19件</td> <td>22件</td> <td>27件</td> </tr> </table>	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	19件	22件	27件
令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)					
19件	22件	27件					
事業の今後について	今後も更なる建て替えやまちなか居住の促進に向け、規制緩和の検討や財政支援メニュー拡充の検討、金融機関との連携について取り組んでいく。						

②. マンション適正管理支援事業（熊本市）

事業実施期間	平成20年度～【実施中】												
事業概要	「管理組合、関係団体、行政の連携で進める管理組合の自主自立によるマンション管理適正化の実現」を基本理念とした、熊本市マンション管理適正化推進計画に基づき事業を進める。												
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（地域住宅政策推進事業））（国土交通省）（令和5年度～令和9年度）												
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【最新値】18件、7件</p> <p>・マンションの適正管理を支援するため、相談会、セミナー、意見交換会、専門家の派遣、管理規約整備補助、耐震化補助、管理計画認定、管理組合登録等を実施した。各取組により、マンションの適正管理が推進されており、安全・安心な居住環境の向上に寄与している。</p> <p>【マンション管理士派遣件数、マンション管理計画認定件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和3年度 (2021年度)</th> <th>令和4年度 (2022年度)</th> <th>令和5年度 (2023年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マンション管理士派遣件数</td> <td>15件</td> <td>16件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>マンション管理計画認定件数</td> <td>制度未制定</td> <td>2件</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	マンション管理士派遣件数	15件	16件	18件	マンション管理計画認定件数	制度未制定	2件	7件
年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)										
マンション管理士派遣件数	15件	16件	18件										
マンション管理計画認定件数	制度未制定	2件	7件										
事業の今後について	今後も安全・安心な居住環境の向上に向け、熊本市マンション管理適正化推進計画の改定や各支援事業に取り組んでいく。												

③. 住宅・建築物耐震化促進事業（熊本市）

事業実施期間	平成20年度～【実施中】
事業概要	平成12年5月31日以前に着工した戸建木造住宅（3階建以下）の耐震診断や耐震改修等に対する支援を行う。
国の支援措置名及び支援期間	防災・安全交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業）（国土交通省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【最新値】95.6%</p> <p>・住宅の耐震診断や耐震改修（建替え等による耐震化の促進を含む）に関する各種補助金の給付などにより、既存建築物の安全性の向上</p>

	<p>を図った。令和5年度の耐震化率は95.6%と年々上昇傾向にあり、市民の住宅に対する耐震化への意識を高め、安全・安心な居住環境の整備に寄与している。</p> <p>【耐震化率】（参考推計値）</p> <table border="1"> <tr> <td>令和3年度 （2021年度）</td> <td>令和4年度 （2022年度）</td> <td>令和5年度 （2023年度）</td> </tr> <tr> <td>94.5%</td> <td>95.0%</td> <td>95.6%</td> </tr> </table>	令和3年度 （2021年度）	令和4年度 （2022年度）	令和5年度 （2023年度）	94.5%	95.0%	95.6%
令和3年度 （2021年度）	令和4年度 （2022年度）	令和5年度 （2023年度）					
94.5%	95.0%	95.6%					
事業の今後について	今後も安全・安心な居住環境の整備に向け、住宅の耐震診断や耐震改修に関する各種補助金の給付等に取り組んでいく。						

④. 街なか子育てひろば事業（熊本市）

事業実施期間	平成26年度～【実施中】						
事業概要	現代美術館内に子育て支援スペースを設置し、地域子育て支援拠点施設の運営を行う。						
国の支援措置名及び支援期間	子ども・子育て支援交付金（内閣府）（令和5年度～令和9年度）						
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【最新値】11,579人</p> <p>・開所10年記念として、利用者がアート作品を制作し展示する、ワークショップの開催回数を増加するなど多くの方が参加できる機会を創出した。利用者数は、1万人を超え、中心市街地のにぎわいの創出とファミリー層の中心市街地への居住促進に寄与している。</p> <p>【利用者数】</p> <table border="1"> <tr> <td>令和3年度 （2021年度）</td> <td>令和4年度 （2022年度）</td> <td>令和5年度 （2023年度）</td> </tr> <tr> <td>3,244人</td> <td>6,980人</td> <td>11,579人</td> </tr> </table>	令和3年度 （2021年度）	令和4年度 （2022年度）	令和5年度 （2023年度）	3,244人	6,980人	11,579人
令和3年度 （2021年度）	令和4年度 （2022年度）	令和5年度 （2023年度）					
3,244人	6,980人	11,579人					
事業の今後について	今後も中心市街地のにぎわいの創出とファミリー層の中心市街地への居住促進に向け、育児不安や孤独感を防ぐための交流の場や利用者同士の仲間づくりの場として提供を行うなど、安心して子育てができる環境を整備していく。						

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和5年度の中心市街地の居住人口は目標値を大幅に超える結果となっており、今後も更なる居住人口の増加が期待されているため、目標達成が見込まれる。引き続き、中心市街地建て替え促進事業による規制緩和や財政支援メニューの拡充等により、建て替え需要を活性化させるとともに、金融機関と連携した効果的な支援に取り組んでいく。また、耐震化等による防災力の向上が進む中で、街なか子育てひろば事業やマンション適正管理支援事業等により、ファミリー層の支援や居住施設における連携・コミュニティの強化に取り組んでいくことでハード・ソフトの両面から安心安全なまちづくりへと繋げ、居住人口の増加を図っていく。